

消費者被害拡大の温床ともなっている「クレジット契約」

「割賦販売法」改正で 被害の防止・救済に



NPO法人埼玉消費者被害をなくす会と共に、消費者団体、生協など18団体が集めた「請願署名」約4,200筆を池本誠司弁護士（写真左）に託す

2008 冬号 WINTER No.28 埼玉県生協連 写真ニュース

発行：埼玉県生協連組合連合会
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5
TEL 048-844-8971

URL: <http://www.seikyoren-saitama.or.jp>



署名の 取り組み

弁護士や労働福祉団体、生協などが浦和駅前で署名を呼びかけた（9/13）

学習会を 開催

被害の未然防止にと県内消費者団体や生協など6団体が開催



埼玉県のマスコット コバタン



年金生活のお年寄りには必要な布団を1千万円以上売りつけるなどの「次々販売」の被害が広がっています。これは消費者の支払い能力を無視して、販売業者が商品売ることに「クレジット（個品割賦）契約」を結ばせることによって起きています。

そこで全国の弁護士、労働福祉団体、消費者団体が「割賦販売法」の改正（消費者の支払い能力を超えるクレジットを組ませる「過剰与信」の防止、不当契約による「既払い金」の返還、など）を求めてきました。

「たくさんの消費者の声が国を動かし、法改正に消費者の要望が取り入れられそうです」と池本弁護士（産業構造審議会 割賦販売分科会基本問題小委員会・委員）。改正案は次の通常国会に提出される予定。

あけましておめでとうございます



11月16日

埼玉県生協役員研修委託事業
「改正生協法」今後の
対応の仕方について学習

「改正生協法の概要と今後の対応について」の研修会が行われ、15生協・他57人（未加盟生協含む）が参加しました。県民・消費生活課の根岸副課長の開会あいさつ後、日本生協連の石川氏を講師に学習会を行いました。

社会福祉功労賞
県内生協の
社会的貢献が広く認められて

11月14日



埼玉県内や全国の「食の安全・安心」や「消費者運動」の推進のために貢献したとして、上田埼玉県知事より埼玉県生協連の伊藤恭一専務理事に表彰状が授与されました。

平成19年度埼玉県消費生活功労者表彰
4生協4人を含む19人が受賞

11月26日



岡島埼玉県副知事が「消費者のくらしや健康を守るために多大な貢献をされてきた方々、今後とも特別のお力添えを」とあいさつ後、一人ひとりに表彰状が授与されました。

埼玉県生協ネットワーク協議会
輸入食品の検査センター見学と
日本生協連の政策を学習

10月22日

輸入食品の違反が報道されるなか、日本の検疫現場での検査体制や検査状況を知るために「横浜検疫所検査センター」の施設見学を行い、20人が参加しました。ビデオを鑑賞後、説明と質疑応答、検査室や記念館などを見学。午後からは「輸入野菜の残留農薬について」の学習を行いました。



2007年第2回県内消費者団体交流会
活動を交流し元気とパワーを充電

12月7日

埼玉消協連の呼びかけで、県内市町村の消費者団体やくらしの会などが集まり、年2回学習や活動交流を行っています。今回も12団体27人の参加で「割賦販売法改正について」の学習会と、各団体の活動報告や交流などが行われました。消費生活展への参加や学習会・セミナーの開催、会員相互の交流など工夫をこらした活動が報告され、時間を超えて交流が続きました。



さいたまコープ



「輸入食品の安全を守るシステム」の学習会を開催

中国産食品に寄せられる「不安」の声を受け、連続学習会「輸入食品、本当に大丈夫？」(全3回)の1回目を12月10日に行い、75人が参加しました。今回は、厚生労働省輸入食品安全対策室、日本生協連、ニチレイフーズより、国の「食の安全」のためのシステムや、中国産商品の開発・製造に携わるメーカーのお話、コープでの品質管理の話を開きました。

“笑顔があふれた” 神川町での大豆収穫

神川町での「大豆づくり交流」の締めくくりとして、11月3日大豆収穫が行われました。晴天のもと組合員親子20人が参加して、畑から引き抜いた大豆を束にし、天日干しするハサ掛けの作業を行いました。6月の種まき、8月の草取りとすすめ育てた大豆の収穫に手応えを感じ、明るい笑顔があふれていました。



ドゥコープ

生活クラブ生協



「生き生き交流会」でアピール

「ストップ!六ヶ所村核燃料再処理工場本格稼働」の署名などに取り組んでいます

生活クラブ埼玉は「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワークに参加し、本格稼働反対の運動を展開しています。工場からの汚染を止めるための署名や反対の想いを伝えるメッセージカード活動、映画「六ヶ所村ラブソニー」の上映会などを行いました。1月27日には日比谷の集会&パレードに参加し、翌日署名を国会に提出します。

蜜いっぱいの「りんご狩りツアー」

長野県にあるパルシステムの産直産地「青木農園」で、11月24日組合員とその家族など30人がりんご狩りを楽しみました。たわわに実った「ふじりんご」からは甘酸っぱい香りが漂うなか、お土産用のバスケットも、お腹もいっぱい、生産者との交流にも花が咲きました。



埼玉県勤労者生協

くらし発信!県内生協の取り組み

「WHOウォーキング」で楽しく健康づくり

毎年10月1日の前後、WHO(世界保健機関)が「世界健康ウォーク」を呼びかけています。医療生協さいたまの各地区・支部でも、「WHOウォーキング」として、ウォーキングコースの環境保護の学習、組合員訪問をしながらのウォーキングや町内の史跡めぐりなど、さまざまな企画で取り組みました。



医療生協さいたま

さいたま高齢協



重度心身障害者の足として「福祉タクシー」

所沢市の地域福祉事業所「まあち」では、昨年4月より介護保険の要介護者などを対象にした運送事業「介護タクシー」を開始し、在宅及びデイサービス利用者などにご利用いただいています。7月には、所沢市から「重度心身障害者に対する福祉タクシー」の認可を受けました。これからも対象となる方々の足として事業を展開していきます。

お店にかわいいお客さまが来訪

花菱縫製(株)で働く女性の割合は85%で、敷地内には託児所が完備され安心して仕事と家庭の両立ができる環境が整備されています。この託児所は、厚生労働省からファミリーフレンドリー企業として、また埼玉県から男女参画推進事業所として表彰されています。あわただしい昼休みが終わり、お店に子ども達の元気な声が響き和やかになったひとときでした。



花菱縫製生協

大東文化学園生協



学生達の手で「生協創立20周年記念レセプション」を運営

前身の大東文化大学東松山生協ができて20年目。生協創立時の苦労に思いを馳せ、また創立時の方々に発展した今の生協と学生委員会を知っていただくため、11月17日東松山校舎を会場に209人の参加で式典が行われました。準備から当日の式典、祝賀会まで学生達が運営し、大学の和田学長からもお褒めの言葉をいただきました。